

2019年4月9日

近畿労働金庫 様

被災障害者支援 認定NPO法人ゆめ風基金
代表 牧 口 一 二

大阪北部地震・平成30年7月豪雨災害 被災障がい者支援 募金プロジェクト報告

いつも「ゆめ風基金」を応援いただき、本当にありがとうございます。

近畿ろうきんの会員労働組合さまをはじめ、多くの団体・個人のみなさまからの「大阪北部地震・平成30年7月豪雨 被災障がい者支援 募金プロジェクト」の取組みに、あらためて感謝申し上げます。

大阪北部地震及び平成30年7月豪雨に対して、ゆめ風基金では以下のような支援を行っており、いただいた「寄付金 1,184,283 円」はその一部として大切に使用させていただきましたことをご報告申し上げます。

《大阪北部地震》

社会福祉法人ぼぼんがぼん	茨木市	児童デイサービス仮移転に伴う改修費
一般社団法人くらしと生きがい・にじ	茨木市	備品購入費
レスキューアシスト	茨木市	障がい者・高齢者宅のブルーシート張り活動費
社会福祉法人花の会	高槻市	グループホーム修復費
社会福祉法人鳩ヶ峰福祉会	八幡市	グループホーム移転に伴う改修費
見舞金（個人）		82件

合計 9,621,080 円

《平成30年豪雨災害》

共同連えひめ	大洲市	作業所の備品購入費
放課後デイサービスホハル	倉敷市	事業停止中の運営費
野村福祉園 レインボーアグリ	西予市	備品購入費
NPO法人岡山マインド「こころ」	倉敷市	グループホーム新設費用
NPO法人歩	大洲市	車両購入費
見舞金（個人）		714件

合計 44,649,350 円

支援総額 54,270,730 円

ゆめ風基金の支援の概要と被害状況など

1. 大阪北部地震

今回は地元大阪の被害が大きいということで、6月18日発災日に大阪北部を中心に関係団体等との安否確認を行いました。同日おおさか災害支援ネットワークの会議において、今後の対応を協議しました。

翌 19 日、前日に連絡が取れなかったところとも連絡がとれ、全体として施設には日常業務に支障が出るほどの施設の損壊も見られず、利用者もみんな無事との確認が取れました。そして、今後の支援の在り方を考える「障害者救援本部」会議を 22 日（金）に開催することを決定しました。

20 日、現地（被災地）を訪問しました。主な目的は、22 日の会議で被災地障害者センターを作った時に行政やボランティアセンターとどのように連携できるかということ模索するためでした。

以下は、「社会福祉法人ぼぼんがぼん」（茨木市）より届いたメールです。

現在、各場の状況確認、利用者、職員安否確認を進めているところですが、特に対応が必要なこととして把握していることを次にあげておきます。

- ◎ 放課後等デイサービス「ぷらす」の建物の耐震状況に不安があり、移転しなければ事業継続できない状況。
- ◎ 重度訪問介護で生活支援をしている方の自宅が、倒壊のおそれがあるため、避難所（小学校）に避難中です。今後の住まいについて確保が必要。
 - ・各場ガスが止まっていることで、食事（炊事）、入浴等の対応検討が必要。
 - ・本部事務所エレベーターが止まっているため、車いすの職員が事務所にあがることができていない。（※19日に復旧）
 - ・保育所小中学校等も休校となっていることに伴い、職員体制に影響が出ている。（小中学校は本日から半日開校、明日から通常開校）
 - ・子ども若者自立支援センターくろす」の水道管破損で水道が止まっている。修繕が必要。

また一部損壊が多く、被害が見えにくいものであり、ふだん福祉サービスとつながっていない人がどうなっているかもわからないので、緊急にそのような人たちを支援するためのチラシを作成し、配布した。

支援を行ったところは、「社会福祉法人ぼぼんがぼん」の児童デイサービスの仮移転場所の改修費用など 5ヶ所。

さらに個人へのお見舞金として、一部損壊で行政費用の出ない障がい者のいる世帯に「5万円のお見舞金」を 82 件お配りしました。



「ぼぼんがぼん」の児童デイサービスを行っていたところ被災し、とりあえず他の事業部門があるマンションで仮に事業を行うこととした。



レスキューアシスト
障がい者、高齢社宅を中心に屋根の被害があったところに、ブルーシーを貼る作業をしている。

2. 平成 30 年 7 月豪雨災害

被害の範囲がとても広く被災状況がわからない中で、災害のあった 1 週間後の 7 月 16 日から 18 日にかけて岡山、広島、愛媛と回りました。岡山は真備町に被害が集中していて、すでに被災していると聞いていた「マインドこころ」や児童デイサービス「ホハル」を訪問しましたが、真備町の様々な団体が被災しているようでした。

広島は、範囲が広すぎて全体の把握が難しいのですが、ここも事前に被災したと聞いていた三原町にある「わくわく工房」を訪ねました。ここは作業所全体が浸水となったため、建物そのものが使えなくなってしまいました。現在は小学校の教室を借り作業を再開していますが、今後の復旧のめどが立ち次第、当方に支援申請をされる予定です。

愛媛は、ゆめ風基金の協力団体である「ゆめ風ネット」が 2 ヶ所あり、情報もいち早く入るとともに、西予市野村町で水害にあった「レインボーあぐり」へパソコンなど事業再開に緊急に必要な機材の支援を「ゆめ風ネット」が行いました。

全体的に広範囲すぎる中で被災した障がい者がどのような状況にあるかわからないため、被災した障がい者にお見舞金を配ること、また被災した障がい者が日頃サービスとつながっていない可能性もあるため、障がい者団体・障がい者福祉サービス提供事業所等からの申請をしてもらうことを決め、サービスとつながっていない人から申請相談があったときはどこかを紹介することとしました。結果的には 714 件もの方から申請があり、多くのお礼状もいただきました。



左 2 階まで水に浸かった「レインボーあぐり」が作業所としていた野村児童館。

上 現在同法人が作業所と借りている倉庫での作業風景。



事業再開をめざし、改修作業を進める
児童デイサービス「ホハル」



「マインドこころ」グループホームだけでなく、昨年建てたばかりのビール工場も完全に水没し、機械が全てダメになった



7月18日に愛媛を訪問した際、松山の事業所等が集まり、今後の支援について話し合い、支援ネットワーク作った。



「NPO法人歩」は1ヶ所が水没し、現在は残っているもう1ヶ所でサービスを行っている。こちらは現在サービスを行っているところ。車両も水没した。

以上、ご報告申し上げます。(文責 八幡隆司／ゆめ風基金・事務局長)